



<学校の教育目標>
心豊かに たくましく 生きる子

さくら

可児市立桜ヶ丘小学校
No. 12
令和3年2月18日



～人とのつながりを見つめ直す1年にするためにも～

校長 小田 一洋

令和2年度の学校生活は残りわずかです。子どもたちにとって、「何もできなかった1年間だった」という思いではなく、『こんなことをじっくり考えた』『日常のありがたさや人とのつながりの大切さを強く感じた』などと、生き方を見つめた締めくくりができるように、学校では指導を行っていきます。どんな目標を持って生活しているかをお子様に聞いて、ご家庭でも励ましの声をかけてあげてください。

子どもたちに実施した生活アンケートから！残りの生活で何を！！

12月に「これまでの学校生活について振り返り、これからの学校生活をさらに、よりよいものにしていきたい」ということから、子どもたち全員に生活アンケートを実施しました。(昨年度未実施)

さて、前年と比較ができないのですが、項目①の「そう思う」の結果を見ると、全校63%を残りの学校生活で増やす意識を持って私たちは様々な指導にあたりたいです。又、低中高と学年が上がるにつれ数値が低いことも学校の課題と捉えます。

項目③④⑤からは、全校の結果が高い数値を示しており、仲間とのつながりや関わりを大切に生活している様子が分かります。「そう思わない」と回答した児童に寄り添いながら指導を行っていきます。

No	アンケート項目一部抜粋	そう思う(%)		そう思わない(%)	
		低学年	全校	低学年	全校
①	学校は楽しい	74	63	4	3
		60		3	
		55		3	
②	元気にあいさつができる	64	50	5	10
		45		10	
		40		14	
③	いっしょに遊んだり話したりする友達がたくさんいる	86	80	1	2
		80		3	
		74		2	
④	班やクラスの仲間と協力できる	84	76	2	2
		74		3	
		70		1	
⑤	どんな理由があってもいじめはしない	83	79	2	1
		73		1	
		80		1	

※アンケートの選択肢は「そう思う」「どちらとも言えない」「そう思わない」の3つです。

そして、人と人とのつながりに関して、子どもの姿で、顕著な結果が表れたのが、項目②です。

「相手を意識し、目を見て、あいさつができる子に」

全体の数値が低いこと、学年が上がるにつれて「そう思わない」が増えることが気がかりです。朝、正門付近で声をかけていますが、いつも元気なあいさつができる子どもたちもたくさんいます。

人間関係づくりを日々学んでいる子どもたちです

学校生活の中で、子どもたちどうしは、裏面にも掲載していますが、全校での取組や異学年との関わりを持った様々な活動を行っています。よりよい社会生活を送る上で、自然にあいさつができる姿はとても大切な習慣です。あいさつの習慣やその姿から波及する人と人とのつながりについて、家庭と地域と学校が連携をして、常に語り振り返らせ、「心豊かなたくましさ」を身に付けさせていきたいと思えます。私たち大人が、子どもの目を見て相手を意識してあいさつを交わしていきたいです。



5年生:幼児との交流準備 手作りおもちゃ寄贈へ

【お知らせ・お願い】

- ◆3月初旬に学校のホームページを新しくする準備を進めています。詳細は後日お知らせをします。
- ◆お子様の自動車での送迎は、プール横の駐車場を利用し行ってください。交通事故を防ぐため、ご協力ください。